

2003 年度 委員会活動成果報告

(2004 年 2 月 16 日作成)

委員会名	防水材料促進耐候性試験方法小委員会	主 査 名：田中 享二
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工委員会(防水工事運営委員会)	委員長名：嵩 英雄
設 置 期 間	2001 年 4 月 ~ 2005 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	防水材料は長期の耐候性が要求される。そのための予測手段として促進耐候性試験がなされるが、防水材料に対しての試験方法は十分検討されていない。本委員会では促進暴露と屋外暴露との関係を、試験条件も含め研究する。	
委員構成 (委員名(所属))	田中享二(東京工業大学建築物理研究センター), 清水市郎(財団法人建材試験センター), 山宮輝夫(大成建設株式会社), 岡本 肇(株式会社竹中工務店), 竹本喜昭(清水建設株式会社), 中沢裕二(田島ルーフィング株式会社), 古市光男(日新工業株式会社), 岩本憲三(三ツ星ベルト株式会社), 中野五郎(アーキヤマデ株式会社), 鈴木 博(三井化学産資株式会社), 榎本教良(サンスター技研株式会社), 高根由充(財団法人日本ウェザリングテストセンター), 松村 宇(北海道立北方建築総合研究所), 富板 崇(ウェザリングワークショップ), 荒井靖彦(株式会社ダイフレックス)	
設置 WG (WG 名: 目的)		
2003 年度予算	円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	2003.5.14 12 名, 2003.7.7 12 名, 2003.9.8 14 名, 2003.10.10(宮古島)1 名, 2003.11.10 11 名, 2004.1.13 14 名
得られた成果	(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無) (1)本年度の活動 ・促進試験を継続している。(キセノンウェザーメータ試験, サンシャインウェザーメータ試験, メタルハライドウェザーメータ試験, 熱劣化試験) ・屋外暴露試験(旭川、銚子、宮古島)での屋外暴露試験は現在 2 年目を経過している。 (2)成果 ・昨年度までの成果を 2003 年度日本建築学会大会に 2 編の論文として発表した。 ・メタハラ光源による促進はキセノンランプに比較して 10 倍程度の効果があるとの結果を得た。 ・シーリング材の両端を動かす新しい暴露試験方法により、気象劣化とムーブメントの相互作用を明らかにしている。
目標の達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係) 計画した実験はすべて予定通り進行している。
その他評価すべき事項	特に無し。